

ソニー株式会社

Media Edge Processor

NXL-ME80

V1.13 Release Note

05/July/2024

【概要】

本書は、対象機の機能追加と不具合修正を目的とした、アップデート版ソフトウェア V1.13のリリースノートです。

【V1.13 変更点】

<新規機能>

1. 5G RX機能
CBK-RPU7の受信機としての機能を追加しました。
2. DCI向けビデオフォーマットの追加
システム周波数が24Hz, 23.98Hzのビデオフォーマットを追加しました。
4096x2160/24p, 4096x2160/23.98p, 3840x2160/23.98p, 1920x1080/23.98p, 1920x1080/23.98psf
このビデオフォーマットの追加に伴い、6G-SDIに対応しました。フォーマット一覧は「ヘルプ」を参照してください。
3. 超低遅延 HDマルチ伝送機能
超低遅延伝送時に、最大4系統までのHDをまとめて伝送する機能を追加しました。セットとしては最大8系統までの超低遅延でのHD伝送が可能となりました。
4. Audio 16ch対応
Low Latency modeで使用する際の1系統のAudioを最大16chまで使用可能としました。
5. HFRモード時のST2110対応
High Frame RateモードをST2110運用時でも使用可能にしました。
6. Administrator roleの追加
Maintainer と Operator の両方の権限を持つAdministratorのロールを追加しました。
7. Ping機能
CONTROL端子、WAN端子、LAN端子にIPv4によるPingテストの機能を追加しました。また、ICMP Reply機能も追加しました。
8. LANのDHCP機能
LAN端子のDHCP機能(Auto by DHCP)を追加しました。

<UIの変更>

上記の機能追加の対応なども含めて以下の変更をしました。

1. タイトルバー
 1. Alarm数表示から「Alarm Log」タブへのリンクジャンプが出来るようにしました。
2. Control ページ
 1. 操作禁止機能を追加しました。
 2. ULL HD Multi関連の画面表示を追加しました。
3. Statistics ページ
 1. Primary/Secondaryそれぞれの状態表示を追加しました。
 2. 意図しない受信の「Unexpected Rx Bitrate」を表示しました。

4. Streaming ページ

1. Configurationタブ

1. Directionの矢印表示を文字表記に変更しました。

2. Settings タブ

1. Video Input/Video Outputによるモード選択を変更しました。
2. Video Resolutionおよび Video OETF/Colorimetry の選択を追加しました。
3. Video Bitrate の 1920x1080p HDR の Preset値 を一部変更しました。

ULL (Single)	High	60Mbps	→	50Mbps
ULL (Single)	Middle	40Mbps	→	35Mbps
ULL (HFR 4x/3x)	High	なし	→	200Mbps (選択が可能になりました)
ULL (HFR 4x/3x)	Middle	160Mbps	→	140Mbps
ULL (HFR 2x)	High	120Mbps	→	100Mbps
ULL (HFR 2x)	Middle	80Mbps	→	70Mbps
LL	High	なし	→	50Mbps (選択が可能になりました)
LL	Middle	40Mbps	→	35Mbps

全ての値は「インストレーションマニュアル」のAppendixを参照してください。

4. LLモード時に Audio Channels で 16ch まで選択できるようにしました。

3. ST 2110 タブ

1. HD Multi対応の追加をしました。
2. HFR対応の追加をしました。

4. WAN List タブ

1. Source/Destination それぞれの編集画面を変更しました。
2. Source/Destination それぞれのListの「Network Jitter Buffer」の名称を、ARQの回数や全体の遅延を調整する機能でもあることから「Network Buffer」に変更しました。

5. Maintenanceページ

1. Network タブ (CONTROL/WAN/LAN共通)

1. CONTROL/WAN/LAN それぞれに Ping 機能を追加しました。
2. CONTROL/WAN/LAN それぞれにICMP Reply (Ping応答の設定)を追加しました。
3. LAN に Auto by DHCP を追加しました

<その他>

1. アラームの追加

問題が発生したときのアラームを追加しました。一覧は「ヘルプ」および「サービスマニュアル」を参照してください。

2. Freeze Detectionの検出機能の変更

Freeze Detectionの設定値でアラームが発生しすぎる場合に、検出機能を一時的に無効化するように変更しました。その際には[6095210x]のエラーコードが表示されます。

3. バージョンアップが出来ない場合の文言変更

NXLU-ME80「1yr Software Update Pack for NXL-ME80」のExpiry Dataを超えていて、バージョンアップが出来ない場合の表示の文言を変更しました。

V1.0xまで 「Invalid Package」

V1.13以降 「This package requires a valid NXLU-ME80 license. Please install it.」

4. NXLU-ME80のExpiry Dataを超えた場合のアラームの追加

NXLU-ME80「1yr Software Update Pack for NXL-ME80」のExpiry Dataを超えた場合、以下のアラームを表示するようにしました。

「The maintenance period for applying future software has ended. Please install a new NXLU-ME80 license.」

<不具合修正>

1. Video出力の不具合修正

[Stream] Video was freeze-framed due to unstable input (stream x) が発生した時に、稀に短い期間に繰り返して発生することがある不具合を修正しました。

2. SDI運用でのAudioノイズが発生する場合の修正

アサカ製のTG4000などで、SDIに重畳される同一サンプリング時刻の Audio Sample が 2 lineに跨っている場合、Audioノイズが発生する不具合を修正しました。

3. Audio出力の不具合修正

伝送状態が悪化すると、一定の間、Audioが異音(極めて短い無音が周期的に挟まる状態)になることがある不具合を修正しました。

4. AudioとAncillaryの伝送不具合の修正

AudioとAncillary が設定の2倍のデータ量で伝送されることがある不具合を修正しました。

5. WAN/LAN端子からのWeb UIへのアクセスの不具合修正

WAN 端子または、LAN 端子経由でウェブブラウザによるアクセスを行うと、伝送に様々な障害が生じることある不具合を修正しました。

6. RTTの揺れ(ジッタ)に対する動作改善

伝送中の RTT の揺れ(ジッタ)が大きい場合に、“An unrecoverable software failure has occurred. Please restart the unit.” が発生して再起動が必要になる不具合を修正しました。

7. WAN冗長構成が機能しない不具合の修正

WAN 冗長構成時に WAN 2 のケーブル抜去で伝送画が停止し、冗長動作が機能しないことがある不具合を修正しました。

8. WAN冗長構成時の再起動が必要になる不具合の修正

WAN 冗長構成で双方がダウンしたあと、伝送が再開しても復帰せず、“An unrecoverable software failure has occurred. Please restart the unit.” が発生して再起動が必要になる不具合を修正しました。

9. QoS Loss 表示の不具合修正

[Statistics] ページの QoS Loss 表示で、非常に大きな値(10桁)が表示されることがある不具合を修正しました。

10. ST2110モードでのAudioアラームの不具合修正

ST 2110 でビデオのクロスポイントを結ぶと、“[Stream] Unsupported audio data found (WAN stream x)” が表示されることがある不具合を修正しました。

11. NMOS有効化の不具合修正

ST2110でNMOS を有効にして Network Interface で CONTROL 端子を選択しても、再起動するまで機能しない不具合を修正しました。

12. コンフィグレーション設定に関する不具合修正

現在使用中ではないコンフィギュレーションの設定を変更すると、伝送が正しくできなくなったり、サムネイルに画乱れが生じたりして、再起動しないと復帰しないことがある不具合を修正しました。

13. Freeze Detection機能に関する不具合修正

Freeze Detection 機能を有効にして、短期間に大量のフリーズを検出すると、“[Others] Module 45 failure” が発生して、ステータスインジケータが赤点灯する不具合を修正しました。

14. DHCPの不具合修正

DHCP で割り当てられた IP アドレスが、固定で設定していた IP アドレスと同じだった場合、IP アドレスが設定されない不具合を修正しました。

以上。